

たんぽぽ だより



赤碕福祉会 基本理念

一、報恩感謝 一、奉仕精神

第119号 令和4年4月発行

スマホホームページ QRコード



社会福祉法人 赤碕福祉会
介護老人福祉施設 百寿苑
百寿苑デイサービスセンター
百寿苑きらりデイサービスセンター
百寿苑ヘルパーセンター
グループホームあかさき
グループホームきらり
グループホームはなみ
あかさき介護支援センター
鳥取県東伯郡琴浦町赤碕1061-3
(0858) 55-2051

令和4年度 法人スローガン 「みんなで紡ぐ 百寿苑」



桜の花も盛りを過ぎ、吹く風も爽やかに感じられる季節となりました。

皆様お健やかに過ごしのこととお喜び申し上げます。

赤碕福祉会では、四月より二名の新任職員を迎え新年度がスタートしました。新型コロナウイルス感染症により閉塞感のある日々が続いていますが、春の訪れと共にフレッシュな新任職員との出会いは明日への希望が見いだされたようで感染症や世界の非人道的な出来事などに負けるものと勇気を頂いた一日でもありました。

明けない夜は無い、私達は希望に満ちた存在であることを忘れず、赤碕福祉会の理念「報恩感謝」「奉仕精神」のもとに一日一日を大切に利用者、そのご家族、地域の方に喜んで頂けるサービス事業所であるよう努力してまいります。本年度もよろしくお願い申し上げます。

令和四年四月吉日

社会福祉法人 赤碕福祉会

苑長 入江 祐子

令和4年度 事業計画

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の陽性者を出す結果となり、利用制限や営業停止など利用者様にご迷惑をおかけしました。令和4年度は感染症への対応を緩めることなく「感染症は持ち込まない・広げない」を基本に、職員が自らの健康を守って入所者・利用者様の健康を守る、職員自らの健康が利用者の健康につながることを自覚し感染対策を講じてまいります。

また感染症の状況下でも入所者・地域の高齢者への質の高い支援を行うこと、高齢者のみならず地域の福祉課題にも目を向け社会福祉法人としての公益的取組を行うことは当法人の役割です。令和4年度は下記の重点課題に目を向け果敢に取り組んでまいります。

1. 人権の尊重

- ・職員に対する倫理教育の充実
- ・虐待を発生させない体制づくり
- ・身体拘束への適正な対応

2. サービスの質の向上

- ・利用者の自立支援を目的とするケアマネジメントとケアの提供
- ・機能訓練の充実による利用者の自立性の維持と向上
- ・認知症ケアの充実
- ・サービスの自己点検（自己評価）と改善への取組み
- ・リスクマネジメントによる事故防止
- ・職員教育・研修の充実
- ・利用者及び家族等の満足度の向上
- ・利用者や家族等からの苦情や相談への的確な対応
- ・サービスの記録の充実と情報開示
- ・職員接遇マナーのふりかえりと向上
- ・科学的介護情報システム（L I F E）の積極的な活用

3. 利用者の生活環境・利用環境の向上

- ・安心・安全な施設・設備環境の整備
- ・QOL：生活の質の向上
- ・日常的な医療との連携
- ・事業継続マネジメントの実践
- ・感染症及び食中毒の予防・まん延の防止

4. 地域との交流、地域における公益的な取組

- ・地域住民の介護予防と社会交流への取組（介護予防教室、公民館活動、こども食堂等）
- ・信頼と協力を得るための積極的なPR・認知症ケアに関する研修の受講の推進
- ・配食サービスによる在宅高齢者の食・健康への支援と見守り活動
- ・職員によるボランティア活動への参加（海岸一斉清掃）
- ・感染症の発生状況に対応したイベントの開催（夏祭り、敬老会、文化祭、ふれあい交流会等）

5. 人材の採用に向けた取組の強化

- ・人材の確保

6. 人材定着に向けた取組の強化

- ・人材の定着
- ・業務改善による職員の身体的・精神的負担の軽減
- ・職員の安全と健康の確保
- ・職員処遇の現状の把握、分析、課題抽出

7. 人材の育成に向けた取組の強化

- ・期待する職員像の明確化
- ・人材育成
- ・体系的な教育・研修プログラムの策定と運用
- ・リーダー層の育成
- ・介護福祉士・介護支援専門員資格取得への支援（勉強会の開催）
- ・各種資格取得・更新への支援（助成金の活用）

8. 法人事業継続性の強化

- ・安定的な収益の確保
- ・コンプライアンス（法令順守）の徹底
- ・財務状況の把握
- ・旧さくら台の有効活用（きらりDS利用環境の改善）
- ・経営計画の策定（法人）

令和4年度スローガン

つむ
みんなで紡ぐ百寿苑



令和4年度のスローガンも令和3年度と同じスローガンを継続することになりました。引き続き、「糸をねじり合わせて一本にするように、ご利用者と地域の皆さま、職員のご縁や想い、心を紡いでいきたい」という想いを日々込めていきたいと思っております。令和4年度もよろしくお願いいたします。

特別養護老人ホーム 百寿苑 開苑30周年

開苑30周年を迎えました。

平成4年5月1日に開苑した百寿苑も、今年で30周年を迎えることが出来ました。

皆様のご支援に感謝申し上げます。本来であれば式典を開催して盛大に祝賀を行うところですが、新型コロナウイルスの感染が収まらず、式典はやむなく次年に繰延とさせていただきました。

入苑者の皆様にはお祝い膳をお楽しみいただき、たくさんの人に支えられながら歩んできた30年の月日を改めて振り返り、未来に思いをはせる機会としたいと思います。

辞令交付式

4月1日、辞令交付式を行いました。感染対策を行った上で会場には最小限の職員参加とし、他の職員はオンライン参加で開催しました。新たな仲間も加わり（理学療法士1名、介護士1名）、新年度の船出となりました。



▲一人ひとりに辞令を交付しました

福 節分祭・ひな祭



▲節分といえば、鬼ですね！



▲皆で楽しく真剣勝負！



▲無病息災を祈願しました



▲おひなさまがあれば自然と顔がほころびますね

理学療法士から地域の皆さまへ

令和4年度より理学療法士を1名増員し、理学療法士2名・作業療法士1名の体制でリハビリを提供させていただきます。今回はきらりデイサービスの遠藤理学療法士から理学療法について説明します。



きらりデイサービス
理学療法士
遠藤 拓郎

私が説明します！

Q 理学療法士って何をする人ですか？

A ケガや障害に対して、運動療法や物理療法を通じて治療を行い動作の回復を図ります。また、障害を持つ人に限らず、健康増進・維持を目的に理学療法を通じて指導や助言を行います。

Q どうしたら理学療法が受けられますか？

A 理学療法は病院や診療所、介護保険関連施設など様々な場所で受けることができます。近くの医療機関・介護保険施設等の相談窓口にお問い合わせください。



4月から新しく加わりました。理学療法士の福本 航です
写真は実際のリハビリの様子になります。皆さんよろしくお願いいたします



▲集団体操の様子 ▲個別リハビリの様子 ▲マシン運動の様子 ▲自主訓練の様子

- ・健康管理、身体機能保持・増進のために
人生100年時代に、健康を維持していくために、その人に合った身体運動をアドバイスします。
- ・家で寝たきり・閉じこもりがちな人たちへ
生活にメリハリをつけ、寝食を分け、生き生きとした、その人らしい生活を見つけるための支援をします。
- ・障害があって在宅生活を始める人たちへ
いざ、病院を退院し在宅生活を始めると、その環境の違いや介護方法など戸惑うことが多くあります。その人に適した理学療法を提供します。

地域のサロン活動での取組み

百寿苑デイサービスの隠岐介護士を定期的に地域のサロン活動に派遣しております。この日は西町公民館で赤・黄・青の3色に色分けされた棒を使った瞬発力を鍛えるトレーニングと食事にまつわる塩分の話、脳トレを行いました。躍動感あふれる講義に皆さん目を奪われ、じっと耳を傾けておられました。地域の方々が、いつまでも健康で現在の生活を継続できるようこれからも取組みを継続して参ります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。主に金屋、下伊勢、別所、西町、東三軒屋の公民館にて活動を行っています。皆さん一緒に楽しみましょう！



百寿苑
デイサービスセンター
介護士 隠岐 浩



厨房からも春を感じられる食事を提供しております



桜ご飯と小豆ご飯 筍の炊き合わせ

4月は、桜の咲く季節です。桜が満開に咲いたらとても綺麗ですね。桜の花びらは、塩漬けにして食べていただけるものもあります。目で見て楽しむだけではなく、食事で桜を感じてみてはいかがでしょうか！
そして、春になると、筍（たけのこ）、蕨（わらび）、蒟（ふき）、ぜんまいなどの山の食材も沢山取れます。春を満喫してみてください！
(調理員・前田より)

管理栄養士の宮川が
育休から復帰しました
みなさまよろしく
お願いします！



スタッフ紹介



グループホームはなみ 介護士 小串 亨

入社して15年が経ちましたが、変に気負うことも無く、日々業務に当たることができています。元々は床板製造の仕事をしていました。色々なことがあり、看護師をしている母の勧めで病院勤務をした後、さらに母の一押しがあり、社会人枠で専門学校に入学しました。その後実習でお世話になったこともあり、赤碕福祉会に入職しました。

昔は人と接する仕事は自分には向いていないと思い込んでいましたが実際にやってみて「自分でもできるじゃないか」という手応えがあり、現在に至ります。利用者の方・職員と分け隔てなくコミュニケーションを取ることを心掛けています。5歳になった娘が、自分よりもお母さんに懐いている事にほんの少しやきもちを焼いていますが、家族の支えにも感謝しています。



百寿苑ホームヘルパーセンター 訪問介護士 表明美



昔、百寿苑で実習を受けた際に現在の入江苑長に声をかけて頂き、入社することを決めました。一時期、体調を崩したこともあり、自分の中では「もういいかな」とも思っていたのですが、再び苑長から熱心に声をかけて頂き復職を決心しました。利用者の皆さまや職員の皆から必要とされることはとても有難いことだと思います。
1人で訪問するヘルパーの仕事は怖さもありますが同時に楽しくもあり利用者の方の生活全体を考えながらその方の意思を大事にすることを心掛けています。ヘルパーをやっている限られた中での時間の使い方や仕事の組み立て方が身に着き、仲間にも恵まれました。2人の息子は成人しましたが16歳の娘がおり、もうひと踏ん張り！あと5年は頑張ります！

きりりデイサービスセンター 介護士 隠岐 隼人

大学卒業後、松江市の特養で勤務していましたが、昨年Uターンし入社後1年が経ちました。子どもが2人おり、4月から下の子は保育園に入ります。常に環境の変化がいっぱいで、ついていくのがやっとです。そんななか、職場には職員の皆さんが馴染みやすくすんなり入ることができました。

福祉の道を志した大きな理由は、祖母の介護をする母の姿を見ていたことです。デイサービスの仕事では、利用者の方の表情や血圧、水分等よく観察しながら、家での生活のご様子も意識するようにしています。

昨年12月から妻も百寿苑で働いています。子育てと仕事、さらには社会福祉士と介護福祉士の取得もありますが、頑張りますので今後ともよろしくお願いいたします。



新任職員紹介



きらりデイサービス
理学療法士
福本 航(わたる)

これまで急性期病院で経験を積んで参りました。介護保険分野でも研鑽をしていきたいと思っております。地域の皆さまよろしくお祈りいたします。



特養
介護士
山根 滉生(こうき)

未経験ではありますが、心機一転新たな挑戦をすることにしました。早く戦力となれるように頑張りますので皆さまよろしくお祈りいたします。

「介護作文・フォトコンテスト」応募作品



全国老協の「介護作文・フォトコンテスト」への応募作品（写真と100文字の手紙）を苑内に掲示し、皆様に楽しんでいただきました。

紙面にて「手紙 100文字のありがとう」の一部を紹介させていただきます



デイサービスの利用者様へ

おはよう、ありがとう、今日もよろしく、笑顔で言って下さるこの言葉で、今日も一日頑張ろうと力が湧いてきます。私もこんな素敵な笑顔で笑えているかな？大切なことに気づかせてもらえる朝時間に感謝。

心より感謝申し上げます

※2月下旬～4月上旬に寄贈、ボランティアの方を掲載しております。

ボランティア

足立様…草取り
琴浦柔道クラブ様…草取り、畑作業

寄贈

桑本様…野菜 森川様…花
谷口様…雑巾 中嶋様…菓子